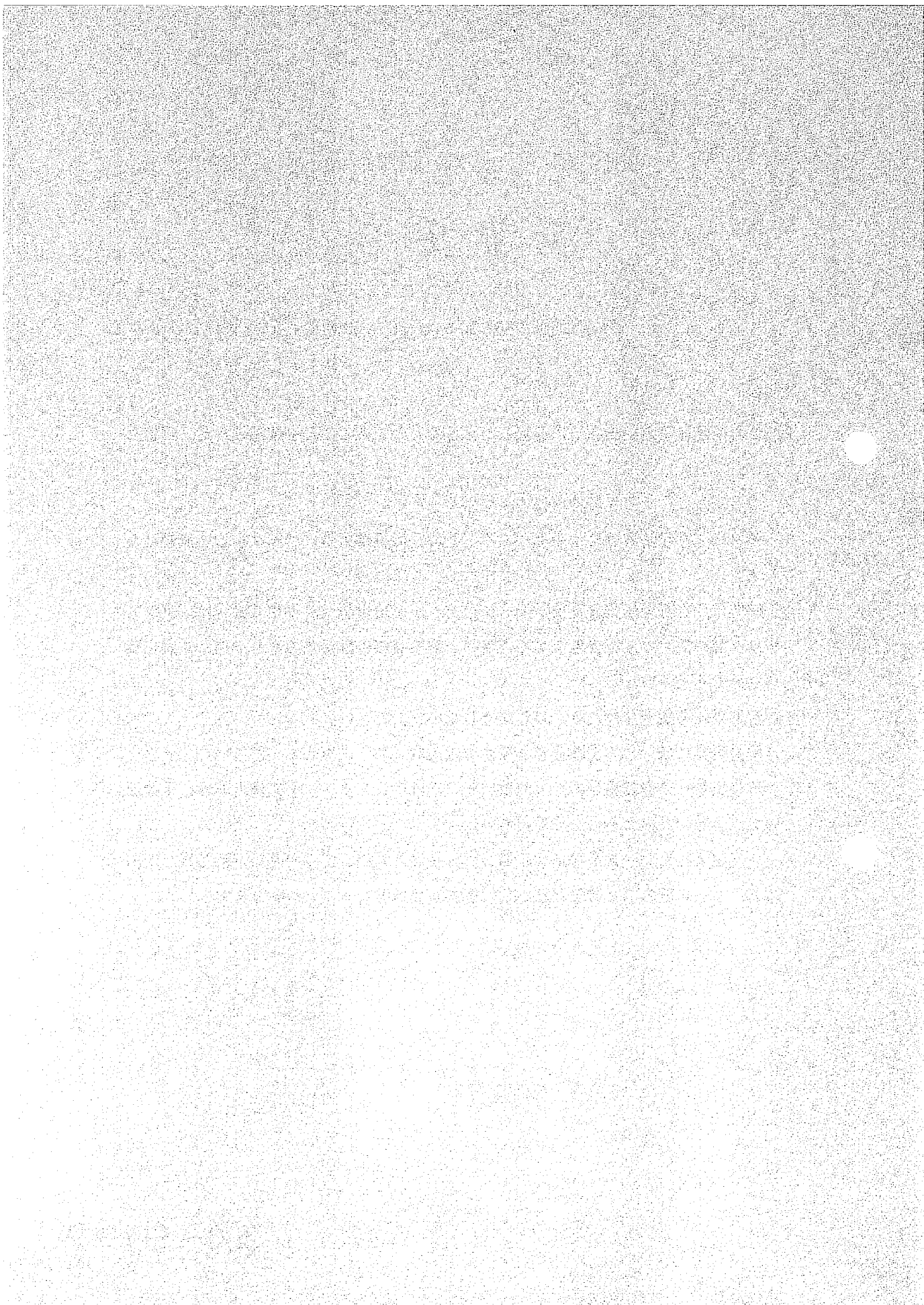


2019 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30～11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. 解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

9世紀半ばになると、バグダードを都として繁栄していた^①アッバース朝は衰え、アッバース朝の領内各地で地方政権が自立するようになった。10世紀初め、北アフリカにシーア派のファーティマ朝が成立した。ファーティマ朝はエジプトを征服し、紅海の交易を独占して、地中海やインド洋を結ぶ交易の主導権をにぎって繁栄した。都カイロはその要地として栄え、ここに建てられた(A)は、イスラーム教の信仰と学問分野での中心的な役割を果たした。^②イブン=ハルドゥーンも、その晩年をカイロで送った。

11世紀半ば、北アフリカではベルベル人のイスラーム教への改宗が進んだ。ベルベル人は、^③マグリブ地方にムラービト朝を建設した。ムラービト朝は(B)を都にして、サハラ以南の西アフリカやイベリア半島に進出してイスラーム教を広げたが、やがてムワッヒド朝に滅ぼされた。

12世紀前半に成立したムワッヒド朝は、イベリア半島に進出し、コルドバを占領してイスラーム教の支配地域の防衛にあたった。しかし、13世紀になるとレコンキスタと呼ばれたキリスト教徒の国土回復運動が進み、イベリア半島の大部分はキリスト教徒の支配下に入った。グラナダを支配していた(C)がイベリア半島の最後のイスラーム王朝となったが、1492年に新たに成立したスペイン王国によってグラナダは陥落した。

^④11世紀後半になると、ヨーロッパでは、ローマ教皇の聖地回復の呼びかけにこたえて、国王や諸侯が十字軍を組織し、西アジアへの攻撃を開始した。その頃、西アジアではトルコ系の^⑤セルジューク朝が大きな力をもち、ファーティマ朝は弱体化していた。第1回十字軍は、1099年にファーティマ朝からイェルサレムを奪い、イェルサレム王国を建国した。これ以降、十字軍の勢力とイスラームの勢力との争いが続いた。

ファーティマ朝の宰相であったサラディン(サラーフ=アッディーン)は、1171年にファーティマ朝を滅ぼしてアイユーブ朝を樹立した。サラディンは十字軍に反撃し、1187年にイェルサレムを奪回した。これに対して、第3回十字軍がイェルサレムの回復をめざしたが、成功しなかった。十字軍と戦って勝利したサラディンは、博愛と公平さでヨーロッパ人にも知られ、賞賛された。サラディンは、カイロに病院を建て、

文芸を保護した。

アイユーブ朝では、トルコ人の奴隷を購入してマムルーク軍団が組織された。マムルーク軍団はしだいに政権内部で力を増し、1250年にアイユーブ朝を倒してエジプト、シリアにマムルーク朝を樹立した。マムルーク朝はメッカ、メディナを支配下におき、アッバース朝のカリフをカイロに復活させた。マムルーク朝では、軍人に給与のかわりに農地からの徴税権を与える（ D ）が整備された。

カイロは、モンゴル軍に占領されたバグダードにかわってイスラーム世界の中心都市として繁栄した。11世紀以降には、カーリミー商人がカイロを拠点として紅海、インド洋の香辛料貿易を独占し、香辛料はアレクサンドリアでイタリア商人に売りわたした。こうして、12～15世紀にかけて地中海とインド洋を結ぶ東西貿易が発展していった。

【設問 I】 上記の文章の A～D についての問に答えなさい。

問 1 （ A ）にあてはまるものを一つ選びなさい。

- a アズハル学院
- b ムセイオン
- c 知恵の館
- d ニザーミーヤ学院

問 2 （ B ）にあてはまるものを一つ選びなさい。

- a タンジール
- b トリポリ
- c マラケシュ
- d カルタゴ

問3 (C) にあてはまるものを一つ選びなさい。

- a 後ウマイヤ朝
- b ナスル朝
- c サーマーン朝
- d ブワイフ朝

問4 (D) にあてはまるものを一つ選びなさい。

- a イクター制
- b マンサブダール制
- c テマ制
- d プロノイア制

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑧について、以下の問に答えなさい。

問1 下線部①のアッバース朝についての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

- a アッバース朝の都バクダードは、ハールーン=アッラシードによって建設された。
- b アッバース朝では、イスラーム教徒であれば、誰にでも人頭税（ジズヤ）が課せられた。
- c アッバース朝では、アラブ人のイスラーム教徒でなければ官僚として登用されなかった。
- d アッバース朝では、アラブ人の特権は廃止され、イスラーム教徒の平等が確立されていった。

問2 下線部②のイブン=ハルドゥーンについての説明として、正しいものを一つ選びなさい。

- a イブン=ハルドゥーンは、都市と遊牧民との交渉を中心に独自の歴史理論を展開する『世界史序説』を著した。
- b イブン=ハルドゥーンは、モロッコから中国にいたる広大な世界を旅して、『三大陸周遊記』を著した。
- c イブン=ハルドゥーンは、ペルシア文学の最高傑作とされた長編叙事詩『シャー=ナーメ (『王の書』)]』を著した。
- d イブン=ハルドゥーンは、ギリシア医学を発展させ『医学典範』を著し、ヨーロッパの医学に影響を与えた。

問3 下線部③のマグリブ地方に該当しない地域を一つ選びなさい。

- a モロッコ
- b チュニジア
- c スーダン
- d アルジェリア

問4 下線部④の11世紀後半にヨーロッパで起きた出来事を一つ選びなさい。

- a 皇帝カール4世が「金印勅書」を發布した。
- b 「カノッサの屈辱」が起こった。
- c 「教皇のバビロン捕囚」がなされた。
- d コンスタンツ公会議が開催された。

問5 下線部⑤のセルジューク朝についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a セルジュークのトゥグリル=ベクはバグダードに入り、アッバース朝からスルタン（支配者）の称号を授けられた。
- b セルジューク朝は中央アジアから小アジア（アナトリア）に至る地域を支配した。
- c セルジューク朝は官僚にイラン人を採用し、ペルシア語を行政用語とした。
- d セルジューク朝はシーア派を保護し、シーア派の神学と法学の発展をはかった。

問6 下線部⑥の1250年は13世紀である。13世紀のイギリスの出来事でないものを一つ選びなさい。

- a マグナカルタが制定された。
- b ワットタイラーの乱が起こった。
- c エドワード1世が模範議会を開催した。
- d シモン=ド=モンフォールが貴族を率いて反乱を起こした。

問7 下線部⑦のメッカについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a メッカは、イスラーム以前からインド洋と地中海地域を結ぶ貿易の中心地として繁栄した。
- b メッカは、ムハンマド誕生の地でイスラーム教の第一の聖地とされる。
- c メッカは現在、サウジアラビアにあり、イスラーム教徒は生涯に一度巡礼するのが望ましいとされている。
- d マムルーク朝を滅ぼしてメッカとメディナの保護権を手に入れたのは、オスマン帝国のスレイマン1世である。

問8 下線部⑧のアレクサンドリアについての説明として、間違っているものを一つ
選びなさい。

- a アレクサンドリアは、フェニキア人植民地で、ローマと激しく対立した。
- b アレクサンドリアは、プトレマイオス朝エジプトの都として栄えた。
- c アレクサンドリアは、ヘレニズム文明の中心都市の一つとして栄えた。
- d アレクサンドリアは、ローマ帝政末期にキリスト教会の五本山の一つだった。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

15世紀の初め、明朝の第3代皇帝となった永楽帝は、都を北京に移し、積極的な対外進出を行った。北方では自ら軍を率いてモンゴル高原に遠征し、南方では（ A ）を一時占領した。また、宦官の鄭和を数回にわたって南海諸国に派遣し、朝貢をうながした。その結果、明への朝貢は東アジアからインド洋にいたる広い範囲で行われ、その海上貿易の中心となったのがマラッカと琉球であった。14世紀末に成立したマラッカ王国は明との朝貢貿易を続け、東南アジア最大の中継貿易の拠点として^①繁栄した。15世紀初めに成立した琉球王国も日本や朝鮮、東南アジア諸国と中国を結んでさかんに交易を行った。^②

朝鮮半島では、14世紀末に倭寇の撃退に功績のあった李成桂が高麗を倒し朝鮮王朝^③（李朝）を建てた。朝鮮は明の朝貢国となり、明の諸制度を積極的に取り入れた。また、金属活字による活版印刷術の実用化などの文化事業も発展した。^④16世紀以降には、両班といわれる有力な家柄が社会の支配層となった。

中国国内では、明代後期には陶磁器や絹がヨーロッパに輸出され、海外からはメキシコ銀や日本銀が大量に入ってきた。こうした国際商業の活発化によって中国国内の商工業は発展した。江南地方は「湖広熟すれば天下足る」と称されるほど開発が進んだ。^⑤大きな都市では、故郷を離れて活動する商人や手工業者には、同郷出身者の互助や親睦をはかるための会館や公所もつくられた。さらに、16世紀には、一条鞭法が実施された。^⑥また、実用的な学問が重んじられ、宋応星の（ B ）などの農学・工芸の技術書が書かれ、朝鮮、日本にも影響を与えた。戯曲・小説も広く読まれ、玄奘の旅を題材にした（ C ）などの四大奇書が発行された。

17世紀半ばに清が成立し、明朝の復興をめざす各地の反清運動を鎮圧した。台湾では、鄭成功が抵抗を続けたが、康熙帝によって降服させられた。^⑦その後、雍正帝、乾隆帝と続き、18世紀半ばにはジュンガルを滅ぼして東トルキスタン全域を支配し、清の領域は最大に達し、ユーラシア東部の大半をおおった。

明の末ごろから清の初めにかけて、カトリックの布教・拡大をめざしてイエズス会宣教師がポルトガル商船に乗って中国へおもむき、キリスト教とともに天文学・地理学・物理学・暦法などを中国に伝えた。郎世寧と呼ばれた（ D ）は北京郊外に建

設された中国最初の西洋式宮殿である円明園の設計に加わった。しかし、円明園は、アロー戦争末期の1860年に、英仏軍によって破壊され、現在は廢墟が残っている。

【設問 I】 上記の文章のA～Dについての間に答えなさい。

問1 (A) にあてはまる国を一つ選びなさい。

- a 大越国
- b クメール王国
- c アユタヤ王国
- d チャンパー王国

問2 (B) にあてはまる科学技術書を一つ選びなさい。

- a 『本草綱目』
- b 『農政全書』
- c 『天工開物』
- d 『崇禎曆書』

問3 (C) にあてはまる小説を一つ選びなさい。

- a 『水滸伝』
- b 『西遊記』
- c 『三国史演義』
- d 『金瓶梅』

問4 (D) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a フェルピースト
- b カステイリオーネ
- c アダム＝シャル
- d ブーヴェ

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑧について、以下の間に答えなさい。

問1 下線部①のマラッカ王国についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 14世紀に成立したマラッカ王国は、タイのアユタヤ朝から脱して明と朝貢関係を結んだ。
- b マラッカ王国の国王は、15世紀半ばからイスラーム教に改宗した。
- c マラッカ王国は、14世紀末から15世紀にかけてジャワのマジャパヒト王国にかわる東南アジア最大の貿易拠点となった。
- d マラッカ王国は、16世紀初めにインド洋貿易に進出したオランダに占領された。

問2 下線部②の琉球王国についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 15世紀初めに中山王によって統一され、琉球王国が成立した。
- b 琉球王国の文化は日本と中国双方の要素を含んでいた。
- c 琉球王国は、17世紀初めに薩摩に服属し、明に対する朝貢はとだえた。
- d 19世紀に明治政府は琉球を領有し、沖縄県を設置した。

問3 下線部③の朝鮮王朝（李朝）の時代の出来事でないものを一つ選びなさい。

- a 訓民正音（ハングル）がつけられた。
- b 朱子学を導入するなど、明の制度を取り入れた。
- c 豊臣秀吉が二度にわたって大軍を送ってきた。
- d 元軍に属し、日本に遠征した。

問4 下線部④の両班についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 文官（文班）と武官（武班）があったので両班と呼ばれた。
- b 当初は、文官（文班）より武官（武班）の方が優位な立場にあった。
- c 両班は高級官吏であり、官職を独占した。
- d 両班が繰り広げた党争は、朱子学の学派争いと結びついていた。

問5 下線部⑤のこの時代の江南についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 稲作が長江下流域から中流域に移った。
- b 綿花や養蚕に必要な桑の栽培が普及した。
- c 大運河が補修されて、江南と大都が結ばれた。
- d 現在の湖北省、湖南省は当時、湖広と呼ばれていた。

問6 下線部⑥の一条鞭法についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 一条鞭法は、各種の税や徭役を一本化して銀で納入させる税法である。
- b 一条鞭法は、それまでの租庸調制にかわって成立した税法である。
- c 一条鞭法は、江南で実施され、全国に普及した税法である。
- d 一条鞭法は、清も継承したが、18世紀初めには地丁銀制に改められた。

問7 下線部⑦の康熙帝の時代に行われたものを一つ選びなさい。

- a 康熙帝は、キリスト教の布教を禁止した。
- b 康熙帝は、キャフタ条約を結び、国境を定めた。
- c 康熙帝は、雲南・広東・福建で起こった三藩の乱を鎮圧した。
- d 康熙帝は、ヨーロッパとの貿易を廣州一港に限定した。

問8 下線部⑧のイエズス会についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a イエズス会は、中国の儀礼や習慣を尊重して布教した。
- b イエズス会の宣教師は、清の時代にも来航して実用的なヨーロッパの文明を伝えた。
- c イエズス会の宣教師は、科挙の制度をヨーロッパに伝えた。
- d イエズス会の宣教師によって中国の芸術がヨーロッパに伝わり、人間や社会の現実をありのままに描く写実主義が広まった。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(26点)

19世紀に入ると、アメリカ合衆国の南部と北部の対立は激しくなった。この頃、(A)が『アンクル=トムの小屋』を著して、奴隷制を批判した。1860年の大統領選挙でリンカンが勝利すると、南部諸州は合衆国から分離してアメリカ連合国をつくった。1861年に南北戦争が始まり、リンカンは1863年に奴隷解放宣言を発表した。この奴隷解放宣言によって、北部は内外の世論の支持を集めて優勢となり、南部の首都(B)が陥落して、南軍が敗北した。南北戦争後、黒人は奴隷から解放されたが、公共施設で黒人と白人を分離する法律が制定されるなど、黒人に対するさまざまな差別が行われた。20世紀に入って、インドのガンディーから非暴力の思想を学んだキング牧師に指導された公民権運動が広がり、1964年に公民権法が成立することになる。

南北戦争後、アメリカ合衆国の経済はめざましい発達をとげた。ヨーロッパからの移民も多く、1869年には最初の大陸横断鉄道が完成した。そして1890年代にフロンティアが消滅し、海外進出の機運が高まった。アメリカ合衆国は1898年にアメリカ=スペイン戦争を起こし、(C)、グアム、プエルトリコを獲得した。また戦争のさなかにハワイを併合した。1899年には、国務長官ジョン=ヘイが中国への進出をねらい門戸開放政策を宣言した。20世紀になると、ラテンアメリカに対する干渉を開始し、武力行使の威嚇をする「棍棒外交」によって、パナマ運河建設の権利を獲得し、1914年に完成させた。

ラテンアメリカでは、19世紀の初めから独立の機運が高まった。ハイチでは、トゥサン=ルヴェルチュールの指導のもとで黒人奴隷が蜂起し、1804年に史上初の黒人共和国が誕生し、黒人奴隷制が廃止された。大陸部のメキシコ以南の植民地では、1810~20年代にかけて多くの国が独立した。南米北部ではシモン=ボリバルが独立軍を組織してスペイン軍と戦い、1819年に大コロンビア共和国を建設した。彼の名は現在、ボリビアの国名に残されている。

メキシコでは、アメリカ=メキシコ戦争が終わると、自由派と保守派との対立が激しくなり内戦となった。これに乗じて、フランスの(D)がアメリカ大陸への進出をねらい、イギリス、スペインとともに出兵し、オーストリア皇帝の弟マクシミリ

アンをメキシコ皇帝とした。しかし、メキシコ人が強く反発し、アメリカ合衆国の反対もあって撤退した。内戦状態を収拾して大統領になったディアスは独裁政治を行い、積極的に外国資本を導入して経済発展をはかった。しかし、ディアスによる独裁体制は自由主義者マデロの蜂起によって倒された。このメキシコ革命は1917年の民主的な憲法の制定に結実した。

【設問 I】 上記の文章のA～Dについての間に答えなさい。

問1 (A) にあてはまる作者を一人選びなさい。

- a トマス=ペイン
- b ストウ
- c ホイットマン
- d マーガレット=ミッチェル

問2 (B) にあてはまる都市を一つ選びなさい。

- a ワシントン
- b リッチモンド
- c アトランタ
- d ボストン

問3 (C) にあてはまる国を一つ選びなさい。

- a フィリピン
- b グアテマラ
- c メキシコ
- d パラオ

問4 (D) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a シャルル 10 世
- b ルイ=フィリップ
- c ルイ 18 世
- d ナポレオン 3 世

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑨について、以下の問に答えなさい。

問1 下線部①の南北の対立についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 西部開拓の進展とともに南北の利害が対立した。
- b 南部はイギリスなどへの綿花の輸出地域だった。
- c 南部は保護関税政策、北部は自由貿易政策を主張した。
- d 南部は奴隷制の維持を主張し、北部は奴隷制に反対した。

問2 下線部②のガンディーについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a ガンディーは、若い頃イギリスに留学して弁護士資格をとった。
- b ガンディーは、イスラーム教の思想に立って非暴力・不服従の抵抗運動を展開した。
- c ガンディーは、塩に税をかける専売制に反対し、「塩の行進」を行った。
- d ガンディーは、国民会議派の指導者としてインド独立を要求した。

問3 下線部③の公民権運動についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 公民権運動は 1950 年代に始まり、60 年代にさかんになった。
- b 公民権法が成立した 1964 年の大統領はケネディである。
- c 公民権運動が高揚する中で、奴隷解放宣言 100 周年を記念してワシントン大行進が行われた。
- d 公民権運動が高揚した時期に、アメリカ国内ではベトナム反戦運動が広がった。

問 4 下線部④のフロンティアについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a ジャクソン大統領は西部開拓を推進し、強制移住法を制定した。
- b アメリカ合衆国は「明白な天命」を主張し、先住民の人権擁護は神から託された使命だとした。
- c 先住民をミシシッピ川以西の居留地に移動させた。
- d 1848年にカリフォルニアで金鉱が発見され、ゴールドラッシュとなった。

問 5 下線部⑤のアメリカ=スペイン戦争についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a アメリカ=スペイン戦争当時のアメリカ合衆国大統領はハリソンであった。
- b アメリカ=スペイン戦争当時、アメリカ合衆国は世界最大の工業国であった。
- c アメリカ=スペイン戦争の後、スペインはミクロネシアをドイツに売却した。
- d アメリカ=スペイン戦争の後、アメリカ合衆国はキューバを保護国にした。

問 6 下線部⑥の門戸開放政策についての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a アメリカ合衆国は、中国の主権尊重と商業の自由の保障を各国に要求した。
- b 門戸開放政策が出されたが、各国の中国分割は勢いを増した。
- c 門戸開放政策は、ワシントン会議の九カ国条約で確認された。
- d 門戸開放政策をとったアメリカ合衆国は、満州における特殊権益を主張する日本と対立した。

問7 下線部⑦のパナマ運河の建設に取り組んだのが、スエズ運河建設の提唱者レセップスであった。レセップスはどこの国の人物か、一つ選びなさい。

- a フランス
- b イギリス
- c アメリカ合衆国
- d エジプト

問8 下線部⑧のハイチの黒人奴隷の蜂起に最も影響を与えた出来事を一つ選びなさい。

- a イギリス名誉革命
- b フランス革命
- c アメリカ独立革命
- d ロシアのプガチョフの反乱

問9 下線部⑨のアメリカ=メキシコ戦争で、アメリカ合衆国がメキシコから奪ったところを一つ選びなさい。

- a オレゴン
- b テキサス
- c フロリダ
- d カリフォルニア

IV 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(26点)

第一次世界大戦の講和会議は1919年1月からパリで開催された。このパリ講和会議には、敗戦国は出席できず、ソ連も参加できなかつた。会議では、アメリカ合衆国のウィルソン大統領の発表した「十四ヶ条の平和原則」が討議の原則となつた。しかし、戦勝国が自国の利益を追求したため、国際連盟の設立以外、これらの原則はほとんど実現できなかつた。この戦後体制をヴェルサイユ体制と呼んでいる。

1919年6月、連合国とドイツとの間でヴェルサイユ条約が結ばれた。ドイツは海外植民地を失い、アルザス・ロレーヌをフランスに割譲し、徴兵制を廃止し、戦車、潜水艦の保有が禁止され、巨額の賠償金支払いが課せられた。さらに、ラインラントについての取り決めもなされた。

オーストリア、ハンガリー、ブルガリア、オスマン帝国と連合国との講和条約は別個に結ばれた。オーストリアとの間では（A）が結ばれ、オーストリア=ハンガリー帝国が解体された。オスマン帝国との間では、シリアを（B）が委任統治することが決められた。ドイツでは、1919年8月にヴァイマル憲法が制定され、ヴァイマル共和国が成立した。しかし、ドイツは多額の賠償金に苦しみ、賠償の不履行を口実に工業地帯のルールを占領され、経済が破綻し、空前のインフレーションが生じた。

1923年に首相となつた（C）は、新紙幣を発行してインフレーションを収束させた。アメリカは、疲弊したドイツの経済が巨額の賠償金で破綻するのをおそれ、ドーズ案をつくつてドイツの安定・復興をはかつた。しかし、世界恐慌によってアメリカが資本を国内に引き上げたためにドイツは深刻な危機にみまわれた。

イタリアは戦勝国であつたが、パリ講和会議で期待通りの領土が得られず、経済危機も深刻になつたため、国民の不満が増大した。ムッソリーニは共産主義の打倒をめざしてファシスト党を結成し、大地主・資本家・中産階級の支持を受けて勢力を伸ばし、1922年にムッソリーニが首相となり政権を獲得した。

ヴェルサイユ体制では、大国間の利害の対立が続いたが、国際協調の気運は次第に生み出されていった。ドイツの敗北にともない、東アジア・太平洋地域の国際秩序も変化した。1921年に開催されたワシントン会議は、軍縮を目標にした最初の国際会

議であった。ワシントン会議では、5カ国による海軍軍備制限条約が結ばれ、主力艦の保有トン数の比率を定めた。また、太平洋地域の現状維持を定めた四カ国条約や、^⑨中国の主権尊重と領土保全を確認した九カ国条約が結ばれた。こうした東アジア・太平洋の新しい国際秩序をワシントン体制と呼んだ。

ヨーロッパでも国際協調の気運は高まり、1926年にドイツの国際連盟への加盟が認められ、1928年にはアメリカ、イギリス、ドイツ、日本など15カ国（のちに63カ国）が不戦条約を結び、^⑩国際紛争を解決する手段として戦争に訴えることがないことを誓いあった。

【設問 I】 上記の文章の A～C についての問に答えなさい。

問 1 (A) にあてはまる条約を一つ選びなさい。

- a ヌイイ条約
- b ラパロ条約
- c サン=ジェルマン条約
- d トリアノン条約

問 2 (B) にあてはまる国を一つ選びなさい。

- a イギリス
- b フランス
- c イタリア
- d アメリカ合衆国

問 3 (C) にあてはまる人物を一人選びなさい。

- a シュトレゼマン
- b ポワンカレ
- c エーベルト
- d ヒンデンブルク

【設問Ⅱ】 上記の文章の下線部①～⑩について、以下の間に答えなさい。

問1 下線部①のパリで結ばれた条約についての記述として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 1713年にスペイン継承戦争の条約が結ばれた。
- b 1763年に七年戦争とフレンチ=インディアン戦争の条約が結ばれた。
- c 1783年にアメリカ合衆国の独立を承認する条約が結ばれた。
- d 1856年にクリミア戦争の講和条約がロシア、オスマン帝国の間で結ばれた。

問2 下線部②のウィルソン大統領の在任中の出来事を一つ選びなさい。

- a 大陸横断鉄道が開通した。
- b パナマ運河が開通すると、その管理権を獲得した。
- c 第1回パン=アメリカ会議を開催して、ラテンアメリカへの影響力を広げた。
- d 太平洋地域のハワイを併合した。

問3 下線部③のドイツの海外植民地でなかったところを一つ選びなさい。

- a カメルーン
- b 青島
- c マリアナ諸島
- d リビア

問4 下線部④のラインラントについての説明として、間違っているものを一つ選びなさい。

- a 19世紀半ば、ラインラントはプロイセンの工業中心地の一つであった。
- b 1919年のヴェルサイユ条約でラインラントの非武装化が決められた。
- c 1925年のロカルノ条約で、ラインラントをフランスに返還することが決められた。
- d 1936年にヒトラーはラインラントに軍隊を進駐させた。

問5 下線部⑤のヴァイマル憲法にもとづいて緊急命令権を有したのはどれか。一つ
選びなさい。

- a 大統領
- b 首相
- c 議会
- d 国防軍

問6 下線部⑥のルールズの占領を行った国を一つ選びなさい。

- a アメリカ合衆国
- b イギリス
- c フランス
- d ソ連

問7 下線部⑦のドーズ案はドイツの賠償問題でどこに位置していたか。順番が正しいものを一つ選びなさい。

- a ヤング案 → ドーズ案 → フーヴァー=モラトリウム
- b ドーズ案 → ヤング案 → フーヴァー=モラトリウム
- c フーヴァー=モラトリウム → ヤング案 → ドーズ案
- d ドーズ案 → フーヴァー=モラトリウム → ヤング案

問8 下線部⑧のムッソリーニが首相になる以前の出来事を一つ選びなさい。

- a ローマ教皇庁と和解した。
- b ヴァチカン市国の独立を認めた。
- c フィウメをユーゴスラビアから奪った。
- d 「ローマ進軍」を行った。

問9 下線部⑨の四カ国条約に参加しなかった国を一つ選びなさい。

- a イタリア
- b アメリカ合衆国
- c 日本
- d イギリス

問10 下線部⑩の不戦条約の別名を何というか。正しいものを一つ選びなさい。

- a ブリアン・ケロッグ条約
- b サイクス・ピコ協定
- c ブレスト=リトフスク条約
- d ローザンヌ条約

